

令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 水俣市立水俣第一中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>令和3年度水俣第一中学校環境ISO宣言項目</p> <p>＜生徒版＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション活動に積極的に参加し、参加率80%以上を達成します。地域のゴミコミュニケーションを取りながら、正しくゴミを分別します。 ○容器包装プラスチックを各クラスでも正確に分別することで、燃やすものをできるだけ出さないようにし、CO₂排出量の削減につとめます。 ○授業の温度等を感知し、エアコン、シーリングファンを適切に利用し、節電します。 ○コップを使った飲みがき、バケツを使った清掃。草木の水やりにはできるだけ雨水タンクを利用して、節水します。 ○家庭での資源の有効利用と分別、効率的な冷暖房の工夫、節電・節水に努めます。 <p>令和3年度環境ISO宣言項目</p>	<p>環境ISO宣言項目については、＜生徒版＞＜職員版＞を作成している。本年度は、整美・環境ISO委員会の中で＜生徒版＞の項目内容について検討し、数値目標に変更を加えた。また、生徒集会において、同委員が宣言項目を発表し、全校生徒に呼びかけた。その後、廊下掲示板に環境コーナーを設置し、宣言項目を掲示することで、共通理解と共通実践を強調した。</p>
行動	 <p>ごみを分別して回収する様子</p>  <p>集めたごみの計量の様子</p>	<p>ゴミコミュニケーション活動（地域ごみ分別収集への生徒参加）については目標参加率を80%とし、班長のリーダーシップを中心に呼びかけを行うことで、参加率の向上を目指した。</p> <p>また、今年度も引き続き、燃やすごみと容器包装プラスチックの正確な分別に力を入れた。学級で確実な分別を呼びかけたほか、毎週水曜日の昼休みに全クラスから出た燃やすごみと容器包装プラスチックを回収し、正しく分別できているか、紙類が混じっていないかなどを整美・環境ISO委員が確認しながら整理した。また、計量を行い、総重量を継続して記録し、学校全体として燃やすごみをできるだけ出さないことへの意識化を図った。</p>
記録	 <p>ゴミコミュニケーション活動の掲示</p>	<p>ゴミコミュニケーション活動については、参加状況を集計し、目標の達成状況について掲示した。また、環境ISO宣言項目については、学期ごとに、各クラスでどれだけ実践できていたかを整美・環境ISO委員が点検し、評価を行っている。</p>
見直し	<p>毎月の委員会活動時に、環境ISO宣言項目についてのクラスの状況を確認し、できていない場合には見直しを呼びかけた。また、ゴミコミュニケーション活動については、毎回、参加者の確認を行い、参加率の低い地区については、呼びかけを行った。</p>	

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>例年どおり、ゴミコミュニケーション活動の参加率が維持できている。また、きちんと分別してごみを捨てる生徒がほとんどである。</p>	<p>エアコンの使用方法について見直す必要がある。教室の移動時など、節電を意識した行動ができるよう指導する必要がある。</p>